



## ほん 本のふくぶくろ

ひ がつ か もく ちゅうかんやす ばしょ としよしつ  
日にち：1月9日（木） 中間休み～ 場所：図書室



ちゅうかんやす ひるやす おこな  
※中間休みと、昼休みに行います。

としよしつ つくえのうえ、「友だち」や「動物」などのテーマが書かれたふくぶくろをならべます。本は2さつずつ入っていますが、どんな本が入っているかは、お楽しみ！今まで自分ではえらばなかった本との新しい出会いがあるかもしれません。

そして、ふくぶくろの中には、本についてのアンケートが入っています。アンケートに答えてくれた人は、おみくじを引くことができますよ。図書室でうんだめししてみませんか？

ぜひ、図書室までふくぶくろを見にきてくださいね。



### 【おやくそく】

- どくしょ 読書かばんと、かりていた本と、貸出カードをわすれずに持ってきてください。
- としよしつ 図書室までは歩いて来ててください。
- ふくぶくろは、ひとり1つずつえらびましょう。ふくぶくろは、1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用があるので、自分の学年のところからえらんでください。
- どのふくぶくろにするか決まったら、カウンターで貸出をしてください。
- ふくぶくろを開けるのは、教室にもどってからです。図書室では開けないでください。
- ふくぶくろの本は、読み終わったら、図書室に返しにきてください。  
(新聞紙のふくろは返さなくてもいいです。)
- ふくぶくろの中に、アンケートが入っています。書いてくれた人は図書室に持ってきてください。持ってきてくれた人は、おみくじを引くことができます。

※1月9日分のふくぶくろがなくなったら、次の日から、新しいふくぶくろを出しますよ。



やわたしりつやわたしよがっこうとしよしつ  
八幡市立八幡小学校図書室

# ほんのおたより

ねんせい ねんせいよう  
(1年生～3年生用)



れいわ ねん がつ か ふゆごう  
令和6年12月9日冬号

## ふゆやす よ 冬休みに読んでみて！

こんかい ほん 今回のおたよりでは、ふゆやす 冬休みにおすすめしたい本をしょうかいしたいと思います。ふゆやす 冬休みにおかえるとくべつな日についての本や、さむ ふゆ こころ 寒い冬に心がほっこりとあたたまるえほん・物語を読んでみませんか？ご家庭でも、お子さんに本を読んであげたり、いっしょにどくしょ 読書をしたりして過ごすじかん 時間をつくってみるのはいかがでしょうか？

また、3学期のはじめには、ほん 本のふくぶくろをようい 用意しています。どんなほん 本とであえるでしょうか？たのしみ 楽しみに待っていてくださいね。

## 行事 『きょうとあしたのさかいめ』 最上一平/作 渡辺有一/絵 教育画劇



### にほん ぎょうじ 日本の行事のこと、知っていますか？

ふゆやす あいだ ねん ほん ばん 冬休みの間に、1年で1番さいごの日と、1年で1番さいしょの日をおかえますね。1日かわるだけで、年がかわるとくべつな日を、みなさんは、どのようにすごしますか？

このえほんは、1年で1番さいごのおおみそかの日、かぞくで、くろまめ 黒豆をたいたり、おもちをついたり、お正月のじゅんびをしながら過ごす様子がえがかれています。年こしそばを食べる理由や、じよ夜のかねを108回つく理由を知っていますか？1つずつにきちんと理由があって、このえほんのなかにこた 答えがのっていますので、よ 読んでたしかめてみてくださいね。

えほん『しろちゃんとはりちゃん』 たしろちさと/作・絵 ひかりのくに



## けんかしても、なかよし

白いうさぎのしろちゃんと、はりねずみのはりちゃんは、とってもなかよし。でも、ある日、食べたいカレーのメニューをそうだんしたら、えびカレーを食べたいしろちゃんと、たまごカレーを食べたいはりちゃん、意見が分かれて、二人は大げんか…。

はりちゃんは、雪がふる寒い家の外にとび出してしまいました。

さいしょは、はりちゃんがいなくなってせいせいしていたしろちゃんですが、しばらくしても家に帰ってこないはりちゃんのことを、だんだんと心配になってきました。がけから落ちこちていかなかな？雪にうもれてしまっていないかな？オオカミに食べられていないかな？と、しろちゃんの心のなかは、ふあんと、さみしい気持ちでいっぱいです。

さて、しろちゃんはぶじでしょうか？そして、二人はなか直りすることができるのでしょうか？心がじーんとあたたかくなるえほんです。

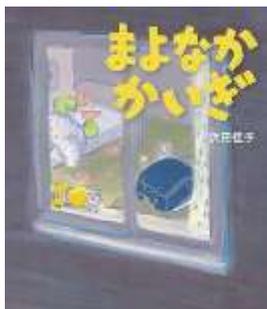
えほん『まよなかかいぎ』 はまだけいこ/作 りろんしゃ

## 学校で使う道具たちのひみつのかいぎをのぞいてみましょう

小学校1年生のゆうきくんが夜にねむっている間に、ゆうきくんにないしよで、「まよなかかいぎ」が行われているようです。「まよなかかいぎ」というのは、ランドセルに入っているえんぴつや、けしゴム、ノート、クレヨンに、カスタネットなどの学校で使う道具たちが、その日のゆうきくんの様子をつたえ合うかいぎです。

ゆうきくんは、やんちゃな男の子のようで、道具の使い方をまちがえていることもあるので、会ぎの間に、道具たちが悲しくてなき出してしまうこともあります。でも、そんなゆうきくんにもいいところがあるようですよ。

ゆうきくんのせい長を見守りながら、道具たちも一生けんめいがんばろうとしているようです。もしかしたら、みなさんが学校で使っている道具たちも、こんな風におうえんしてくれているのかもしれないね。



ものがたり『すずめのくつした』

ジョージ・セルデン/文 ピーター・リップマン/絵 光吉郁子/訳 大日本図書



## すずめのくつしたがおこしたきせきのものがたり

アンガスという小さな男の子の家には庭があって、そこにたくさんのすずめがくらしています。アンガスは、すずめたちにえさをやったり、水あびの水をいっぱいにしておいてやったり、親切にお世話をしていました。すずめのなかでも、とくに、ブルースというすずめとは大のなかよしです。

そんなアンガスのお父さんと、おじさんたちは、くつした工場で、きかいを使って、いろんなよのくつしたをつくるお仕事をしています。ところが、町の真ん中に、大きなくつしたのお店があるので、アンガスのお父さんたちの小さなお店には、お客さんがなかなか来てくれません。

ある日、アンガスは、ブルースが足をつめたそうにしているのを見て、すずめたちにくつしたをつくって、はかせてやりました。すると、そのすずめのくつしたはきせきをおこすのです！

ものがたり『お話のたきぎをあつめる人 魔法の図書館の物語』

ローレンティン妃&パウル・ヴァン・ローン/作 西村由美/訳 佐竹美保/絵 徳間書店

## 本やお話が大すきになるものがたりです

もり森のはずれに、おじいちゃんくらしている女の子ステレは、本が大すき。でも、本を1さつしか持っていないくて、何度も読んだので、その本はもうバラバラになっていました。

そんなときに、おじいちゃんから、だれも住んでいないおしろの中に、図書館があることを教えてもらいました。しかし、図書館に入れるドアは1つだけ。たくさんのドアのなかから正しいドアを見つけなければ、きけんな目にあってしまいます。

なんとか正しいドアを見つけて、図書館の中に入ったステレは、まるでゆめを見ているようでした。ゆかから、天じょうまで、ずっと本がならんでいたのですから。ステレは、お中になって本を読み、自分だけが楽しんでいてはもったいないと、村の子ども達にお話を語ってあげました。すると、子ども達は大喜び。しかし、それをよく思っていない男の子があらわれて…。

